

# 「がれき受け入れ 一日も早く実現」

県議会で  
知事説明

## 補正予算案など上程

県議会第一回定例会は一日、本会議を再開した。東日本大震災で発生したがれきの広域処理推進などで三億六千九百三十六万一千円を増額し、総額六千七百七十二億八千六百四十八万八千円とする本年度一般会計補正予算案など議案六件を

上程。鈴木英敬知事が提案理由を説明し、散会した。一般質問は七、十一、十三日。

鈴木知事は危機管理や経済発展、紀伊半島大水害からの復旧・復興などに全庁を挙げて取り組むとした。震災の被災地支援として

「開催地が本県に決まれば、大きなチャンスと捉え、台湾からの誘客に向けて県をPRしたい」と語った。

また、国の出先機関改革では、東海三県と名古屋市で検討会の設置が決まったと報告。ただ、国土交通省

地方整備局については「災害時の対応など、整理すべき課題が多くあることから、慎重な議論が必要であると考えている」とし、あらためて地方移管に反対の考えを示した。



提案理由を説明する鈴木知事  
二県議会議事堂で